

## 麦種子及び大豆種子栽培と農福連携 ～（農）三輪営農組合～

### 経営体の概要

法人設立前：昭和62年度  
基幹作物：水稻、小麦、大麦  
経営面積：67.8ha



現在：令和2年度  
基幹作物：水稻、大豆、小麦、大麦  
経営面積：78.8ha

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

昭和61～平成2年の県営区画整備事業を契機に、大型農業用機械の共同化や作業の効率化を図るため、昭和62年に下三輪集落で任意組合を設立（全農家54戸、役員10名）した。平成23年に農事組合法人に改組し現在では、約150戸（うち組合員50戸）、約275筆の近隣農地を管理しつつ、麦・大豆を中心とした二毛作の作業受託を行っている。

組合員、非組合員の農地については、殆どが湛井十二ヶ郷用水路の受益地であり、水管理については、計画的に取水でき、また必要時に取水量が確保できる点が規模拡大にもつながっている。

適切な栽培管理に努めていることで、周辺地域の農家と比較して各作目の品質・収量ともに優良である。このことが評価され、大豆と小麦については、種子生産の業務を請け負っている。また、本年度より、農福連携にも取り組み、大豆の雑草取り等の作業員の派遣を受けている。

### 営農改善のポイント

#### ①収量・品質の向上、作物の選定

排水対策として、全てのほ場でサブソイラによる心土破碎を年2回（麦作前1回・大豆作前1回）実施し、収量・品質を確保している。

平成30年から、JAを通じて兵庫県の豆類卸売会社と小豆（丹波大納言小豆）の契約栽培を始めている。吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク（集落営農組織等が共同で研修等を行う組織）の研修で栽培技術を習得しており、総社市周辺では最も品質が良いとの評価を得ている。



大麦の播種



収穫を待つ小豆

#### ②省力化

水稻は元肥一発施肥、麦は播種前の肥料及び除草剤の同時施用により省力化に努めている。

また、水稻、麦、大豆共通で有人ヘリコプターによる農薬散布を実施し、省力化を図るとともに農薬の被曝回避に努めている。



農福連携

### 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業「岡山南部地区」  
関係市町：岡山県岡山市、倉敷市、総社市  
受益面積：3,822ha  
事業期間：平成10～平成27年度  
事業目的：用水改良  
主要工事：頭首工 2箇所（土砂吐・洪水ゲート、  
護床工改修等）  
用水路 7.0km（用水路改修）

### 位置図（岡山県）



### <問い合わせ先>

中国四国農政局  
農村振興部農地整備課  
電話：086-224-4511  
（内線：2562）

（令和2年度調査時点）